

KINDAI KENCHIKU

July

Vol.76
2022

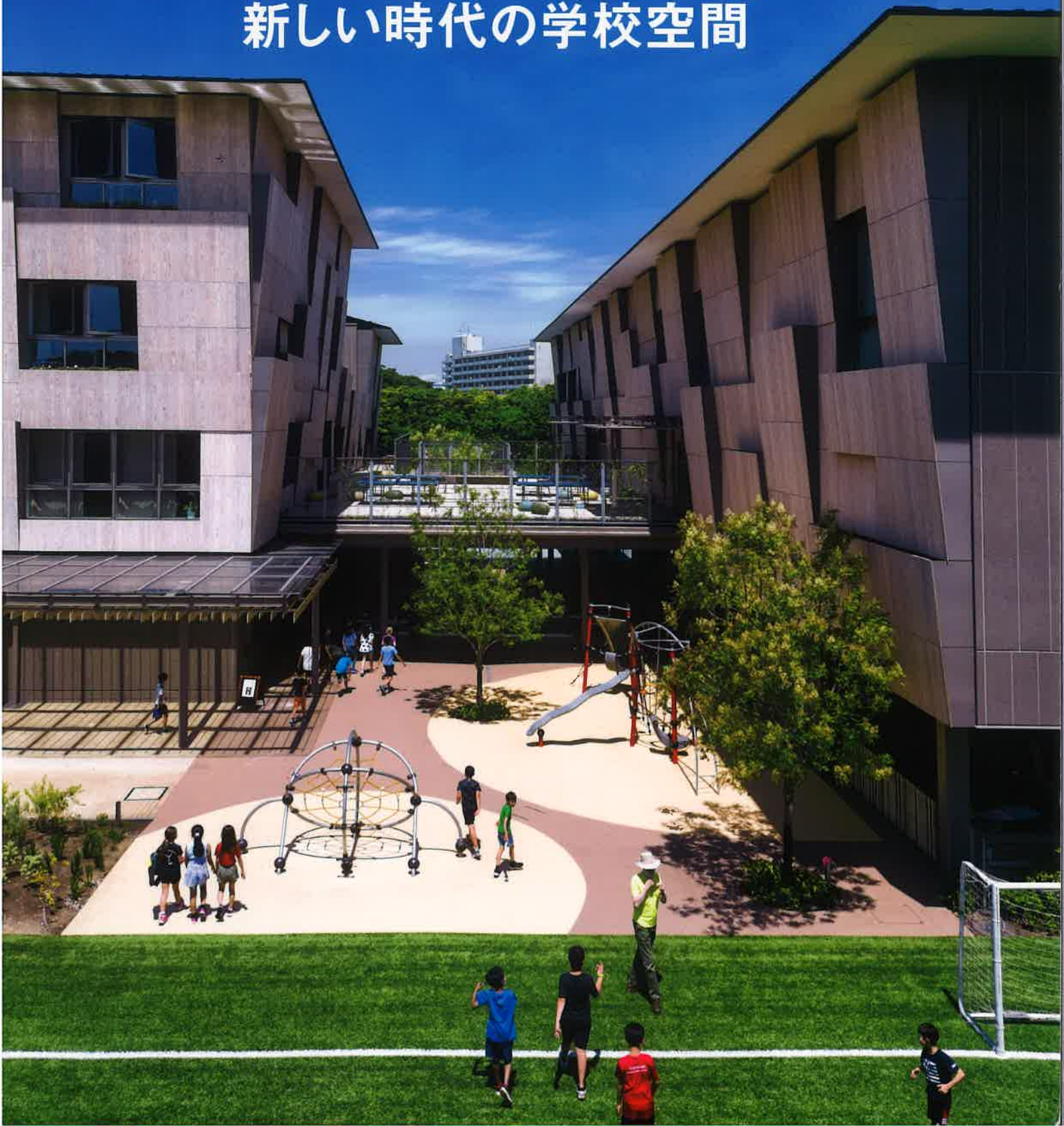
近代建築

7

特集 学校建築

監修 長澤悟

新しい時代の学校空間



大阪国際中学校高等学校

大阪府守口市

設計・監理／安井建築設計事務所
施工／竹中工務店



本に包まれ、全学年の教室が面することで生徒同士が触れ合うコミュニケーション commons

ふれて 感じて 考える学びの場

「学びの場とはどうあるべきか」この問いは学校をつくる上での原点ではないだろうか。

この問いに対し、私たちは、生徒が人の考えや文化・自然にたくさん「ふれる」機会をつくることで、感じて考えて、自分らしさをみがいていける、そんな学びの場を目指した。

舞台は守口市に拠点を置く大阪国際学園の2つの学校を統合した中学校高等学校である。キャンパスはグラウンドを中心に、円弧上に校舎棟と特別教室棟、個性あるMANABI庭が散りばめられ、学びの連鎖を起こす配置計画としている。

接地性を高めるため分棟形式とし、外部に開いた特別教室棟は、教科に関係するランドスケープでつくられたMANABI庭と繋げることで、内と外を使った授業を可能としている。これにより、教科書で見た水生生物をビオトープで観察する理科の授業や、日本庭園と和室を使った礼法の授業、菜園で収穫した野菜を使った調理実習の授業といった、体感することで教科書での学びに留まらない記憶に残る教育空間が生まれている。また、平屋建ての特別教室棟は木のトラス構造を見せ、

各棟で張り方を変えた杉板の外壁とすることで、木の文化にふれることができる。木材利用の他、創エネ・省エネ化した理科教室棟では脱炭素化への取り組みや色付けした設備配管を見える化し、建築を学びの要素に変えている。

一方で、生徒間の交流を高めるため内に開いた校舎棟は、4層の段上スラブからなるワンルーム空間を全学年の教室と繋げることで、年齢を超えた「教える」⇔「教わる」環境が相互作用し、生徒同士が触れ合う学びの場となっている。コミュニケーション commons と名付けられたこの場所は、教室とオープンに繋げることで、commons と教室を一体利用

した授業形態を可能にしている。また、教室の扉を除く壁面は本棚を並べ、commons 全体を本に包まれた空間とすることで、生徒が日常から書物の知識にふれる場となっている。本棚の側には本の一節が書かれた言葉や、生徒の心に問いかける偉人たちの言葉を壁に配しており、生徒は本を探索しながら commons を回遊し、人の教えや活動に出会える「知の交流拠点」となっている。

外に開く特別教室棟と内に開く校舎棟を持つこのキャンパスは、人の考えや文化・自然にたくさん「ふれる」場となることで、生徒を成長させる学び舎となっている。

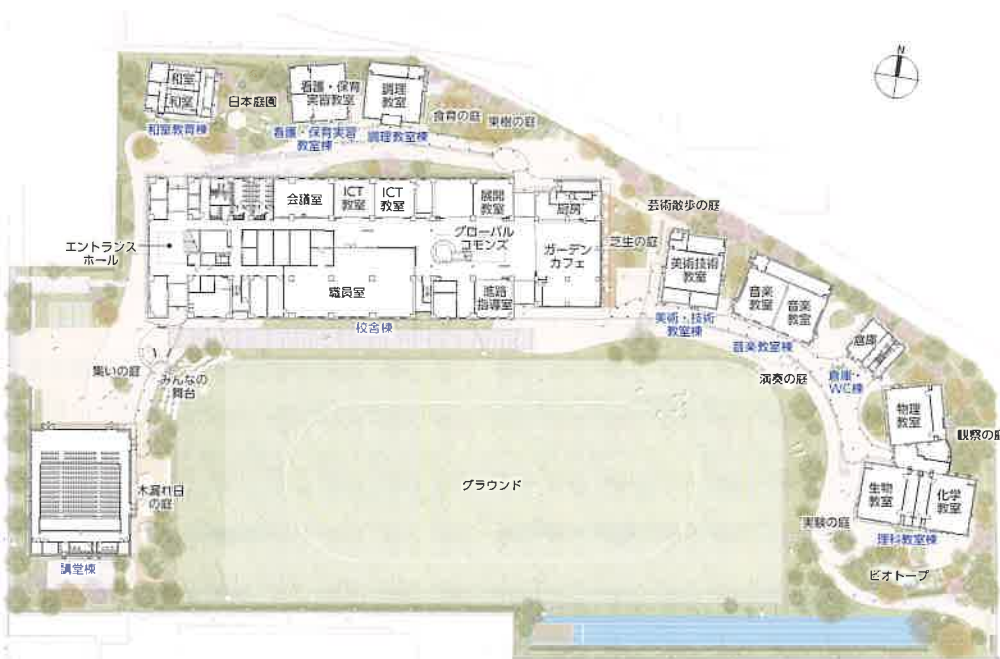
(清原健史／安井建築設計事務所)



各棟をつなぐ渡り廊下越しに見る



左上/西側俯瞰 右上/ビオトープ越しに見る 左下/グローバルcommons 右下/ガーデンカフェ横の芝生の庭で昼食をとる生徒たち



4階平面図

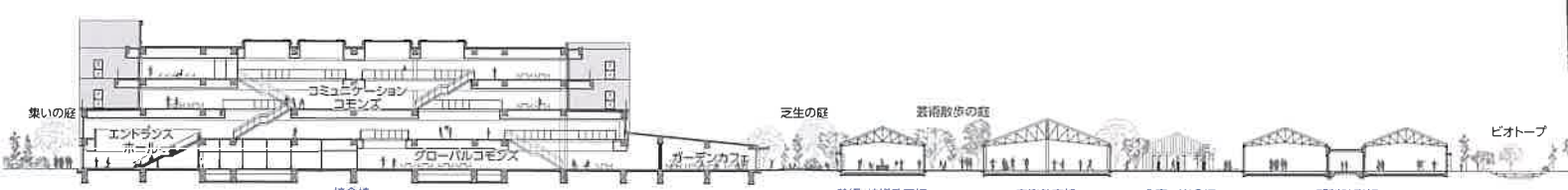


3階平面図



2階平面図

配置・1階平面図 縮尺1/1,500



断面図 縮尺1/1,000



和室



美術技術教室



講堂

施工計画

約18,000㎡の工事敷地は三面が周辺施設に隣接しており、東面にしか工事用搬出入口を設置できなかったため、校舎棟を含む全9棟の校舎の新築工事と外構工事を同時施工するための動線計画の立案は、非常に困難を極めることが予想された。また、分散配置される木造付属棟とそれを結ぶコンクリート打ち放しスラブの渡り廊下の施工は、互いが隣接しており、車両動線の確保

が難しかったため、非常に綿密な施工順序の決定が不可欠であった。

これらに対応するべく、詳細工程をつくり込み、4D施工ステップモデルを用いて検討を重ねることで、円滑な施工順序を計画・実践した。

木造トラスによる大空間を構築した講堂棟、吉野杉を使用した「鑑下見板張」「箱目地下見張」等の伝統工法を用いた外装杉板の木造特別教室棟、地層をイメージした左官仕上げの校舎棟など、

施工難度が非常に高い建物であったが、見本施工や、クライアントを交えた現地での出来栄確認を重ね、プロジェクト関係者で一体となってこの学園をつくり上げられたことに、施工者としても喜びと感動を感じている。

この学園の学生の皆さんにも、建設に携わった関係者の思いを同じように感じていただくことができれば幸甚である。(戸田 浩一/竹中工務店)



校舎棟建方時施工状況



特別教室棟木トラス施工状況



特別教室棟・渡り廊下施工状況



全体俯瞰



清原 健史……きよはら たけし
1979年滋賀県生まれ。2004年滋賀県立大学大学院環境科学研究科修士課程修了、同年安井建築設計事務所入社。現在、同社大阪事務所兼東京事務所設計部設計主幹



山崎 拓……やまさき たく
1987年広島県生まれ。2014年滋賀県立大学大学院環境科学研究科修士課程修了、同年安井建築設計事務所入社。現在、同社大阪事務所設計部設計主任



古田 大介……ふるた だいすけ
1992年岐阜県生まれ。2017年名古屋大学大学院環境学研究科修士課程修了、同年安井建築設計事務所入社。現在、同社大阪事務所設計部設計担当



戸田 浩一……とだ こういち
1965年愛媛県生まれ。1990年竹中工務店入社。現在、同社 大阪本店 作業所長



江崎 勇司……えさき ゆうじ
1970年福岡県生まれ。1991年竹中工務店入社。現在、同社 大阪本店 シニアチーフエンジニア

大阪国際中学校高等学校 データ

所在地 大阪府守口市松下町1-28

主要用途 学校

建築主 学校法人 大阪国際学園

設計・監理 安井建築設計事務所

担当/総括: 森 雅章 建築: 清原健史、山崎 拓、古田大介 ランドスケープ: 石井佑介

構造: 松下直子 設備: 山崎貢貞、坂東功一

監理: 岡 憲司、佐喜健志

施工 竹中工務店

担当/所長: 戸田浩一 建築: 江崎勇司

設計期間 2019年2月~2020年7月

工事期間 2020年8月~2021年11月

【建築概要】

敷地面積 18,130.55㎡

建築面積 4,631.84㎡

延床面積 9,716.29㎡

建ぺい率 25.55% (許容60%)

容積率 53.45% (許容200%)

構造規模 校舎棟: RC造 地上4階、塔屋1階
特別教室棟: 木造 地上1階

地域地区 準工業地域 準防火地域

【学校施設】

クラス数 中学校各学年3クラス 高等学校各学年11クラス

特別教室 理科教室×3室、音楽教室×2室、美術・技術教室×1室、調理教室×1室、ICT室×2室、和室教室×2、

看護・保育実習室×1

グラウンド 200m

その他 講堂、体育館(別敷地)、部室(別敷地)

【主な外部仕上げ】

屋根 校舎棟: 鉄筋コンクリートの上アスファルト防水

特別教室棟: ガルバリウム鋼板葺ハゼ葺き

外壁 校舎棟: 鉄筋コンクリートの上モザイクタイル貼

特別教室棟: 杉板型枠コンクリート打放しの上疎水材、吉野杉板多種貼、ガルバリウム鋼板葺ハゼ葺き

建具 アルミサッシ

外構 インターロッキング舗装・石舗装

【主な内部仕上げ】

エントランスホール 床/せっ器質タイル 壁/城陽砂利

入モルタルの上ピーリング加工 天井/細木繊維化粧板

グローバルcommons 床/複層ビニル床タイル 壁/石膏

ボードの上EP塗装 天井/細木繊維化粧板

教室 床/タイルカーペット 壁/石膏ボードの上日本の

伝統色EP塗装 天井/化粧石膏吸音ボード

特別教室 床/リノリウム 壁/石膏ボードの上EP塗装

天井/細木繊維化粧板

撮影/株式会社 エスエス 大阪支店

協力会社

電気・設備工事	浅海電気
給排水衛生設備 空調調設備工事	高砂熱学工業
高・士工工事	興野組
鉄骨階段工事	キョーエイ
PC工事	オリエンタル白石
木造躯体工事	三井ホームコンポーネント
金属屋根・外壁工事	新星商事
建築用鋼材・鉄骨・鉄骨造り工事	小松ウオール工業
押出成形セメント板	ノザワ
塗装工事	石渡康三郎塗装店
舗装工事	ハーテック
左官工事	南晃工業
バルコニー・バルコニー工事	OSHIRO X
軽鉄・ボード工事	サンユー
人工木デッキ・壁工事	昭和洋機製作所
サイン工事	日本サイン
造作工事	西尾木材工業所
内装用細木繊維化粧板納入	竹村工業

京都産業大学 天地館

設計 日建設計
監理 安井建築設計事務所
施工 フォン



学生活動の拠点となる自然光の差し込む大屋根広場

マスタープランに基づく環境を活かした キャンパス整備

上賀茂の自然豊かな山麓の風致地区に京都産業大学のキャンパスは位置する。開学50年を超える京都産業大学ではマスタープランを策定し、一拠点の総合大学としてキャンパスを発展させてきた。上賀茂の風景に調和する統一感のあるキャンパスを目指し、2008年第5期マスタープランにおいては煉瓦壁や金属屋根を採用する方針を示したデザインコードが定められ、老朽校舎の逐次建替えを行ってきた。計画終盤に位置づけられ

る天地館においては、教室、購買、ラウンジと、キャンパスの核となるパブリックスペースの創出が求められた。隣接既存棟である2013年竣工の万有館（教室、研究室、実験室等）とは各階廊下で接続し、建物間を大屋根でつなぐことにより2棟間に広場を創出し、一体的な建築とした。芝生広場を中心としたキャンパス上段南エリア完成に次ぎ、大屋根広場を中心とした学習空間が完成することにより、風景・地形に調和する、多様で統一感のあるキャンパスが完成した。

学生活動の拠点となる 屋内外のパブリックスペース

高台からの良好な眺望を享受しながら山並みに合わせてセットバックする段状テラスと、雨天時も利用可能な大屋根広場を計画し、屋内外にわたり学生活動の拠点となる様々な学生の居場所を創出した。既存樹木を活かし、地形に連続するように小教室をセットバックして配置することにより、緑に包まれた眺望豊かな学習空間を実現している。廊下突き当りには採光、通風のためのガラスの窓を設け、周囲の緑が感じられる居心地のよい共



緑に包まれ一体的な景観を形成するキャンパス全景*



手前：天地館 奥：万有館（既存）



用部を目指した。大屋根はプレキャストコンクリートとガラスにより形成し、雨や夏の強い陽射しを遮りつつも自然光を間接的に採りこみ、全天候型の広場空間として、部活動や学園祭をはじめ様々な学生活動の核となる空間づくりを行った。

多目的化する学生の居場所

天地館を含む一連の逐次建替えにおいて、共用部の充実と学生の居場所づくりに主眼を置き設計してきた。コロナ禍を経て、大学施設における共用部は、ただ休憩するだけの場所から、自習やリモート授業を受ける学習の場としての活用がなされる多目的な場所へと変容した。天地館において設えた大屋根広場やテラス空間、内部のベンチスペース等、屋内外の様々な居場所では、竣工後学生達が思い思いに使いこなし、食事から学習まで多様なアクティビティの場として機能している。天地館が学生にとって居心地の良い学習・生活空間となり、キャンパスで学ぶ意欲が高まる学び舎となれば幸いである。

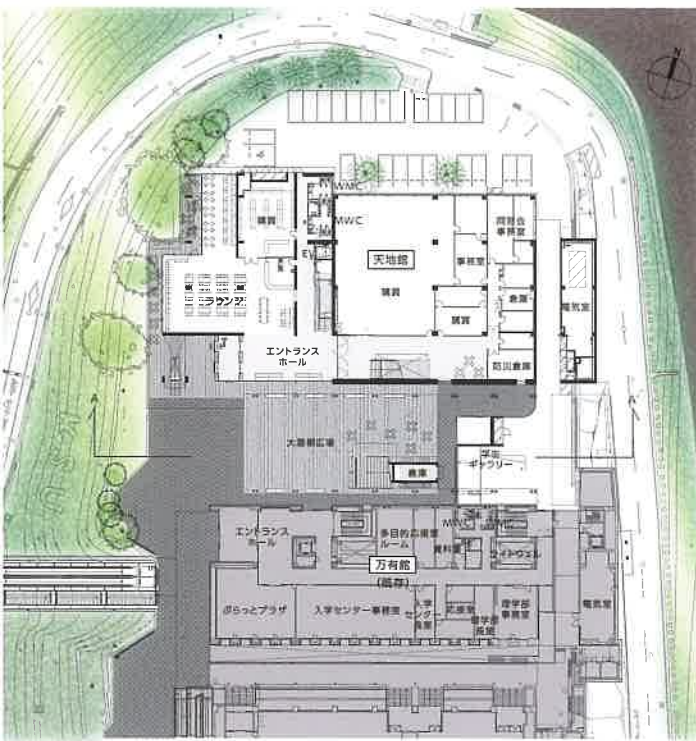
(若江直生/日建設計)



上/自学習にも活用される西質茂を望むテラス 中上/多目的な共用空間となる段状テラス 中下左/教室前のベンチスペース* 中下右/豊かな眺望を享受する学習空間* 左下/大屋根広場を見下ろす共用空間 右下/既存樹木を借景とした学生ラウンジ



大屋根と張り出したテラスが学生を迎え入れるアプローチ



配置・1階平面図 縮尺1/1,200



A-A' 断面図 縮尺1/1,200



プレキャストコンクリートとハイサイドライトにより自然光を採り込む大屋根

施工計画

本工事は工事中の教室数確保のため2段階施工となり、1期工事では敷地西側に各階がセットバックした4階建ての建物を東側に既存建物(1号館)が近接する中で施工し、2期工事ではその既存建物を解体した後に敷地東側に4階建ての教室棟および南側に大屋根広場と中教室の施工を行った。大屋根広場の南側には既存建物(万有館)があり、1・2期ともに使用中の教室や研究室が近接する中で、騒音振動対策も実施しながらの非常に厳しい条件下での施工であった。特に2期工事の大屋根広場には長辺長さ12m、1枚約14tの大屋根PC版が16ピース設計されており、両側に近接建屋がある狭隘部において

鉄骨やPC版の重量物を扱うため綿密な施工計画を立て工事を行った。また大屋根広場は搬入ゲートから最も奥まった位置にあったため教室棟の施工前に鉄骨やPC版の工事を完了させる必要があり、大型揚重機やトレーラーの搬入動線となる教室棟の一部基礎工事を先行し、大屋根施工中に残りの教室棟の基礎工事をラップさせることで工程を確保した。その他にもレンガ中空積み外壁やランダム目地付き打放し壁、金属手摺を内蔵したレンガ自立手摺など、施工難易度の高い建物であったが、発注者及び設計者、監理者との綿密なコミュニケーションのもと安全・品質・工程を確保し建物を竣工させることができた。(高岡伸彰/フジタ)



高岡 伸彰……たかおか のぶあき
1973年和歌山県生まれ。1997年広島大学工学部第四類建築学課程卒業、同年フジタ入社。現在、同社広島支店 建築作業所副所長

京都産業大学 天地館 データ
所在地 京都市北区上賀茂本山
主要用途 大学
建築主 学校法人京都産業大学
設計 日建設計
担当/建築：若江直生、水田弓衣、高 婧、押部健之
構造：嘉村武浩、古城拓哉 電気：向井文悟、川合満男、高根澤武、岩田 琳(元所員) 機械：田中宏昌、後藤祥仁、宮崎亜由美
監理 安井建築設計事務所
担当/後呂卓伸、楠本 隆、長野澄夫
施工 フジタ
担当/岡本 明、高岡伸彰
設計期間 2017年10月～2018年10月
工事期間 2019年2月～2021年9月
[建築概要]
敷地面積 259,105.03㎡

建築面積 3,065.41㎡
延床面積 6,911.90㎡
建ぺい率 18.22%*(許容30%)
容積率 57.06%*(許容60%)
※キャンパス全体に対する数値
構造規模 SRC・RC・S造 地上4階、塔屋1階
地域地区 第一種中高層住居専用地域、風致地区(第2・5種地域)
[学校施設]
学部構成 経済学部、経営学部、法学部、現代社会学部、国際関係学部、外国語学部、文化学部、理学部、情報理工学部、生命科学部
学生数 14,511人(全校)
教職員数 253人
[主な外部仕上げ]
屋根 フッ素ガルバリウム
外壁 レンガ、RC打放し

建具 アルミサッシュ
外構 レンガ、ウッドデッキ
[主な内部仕上げ]
教室 床/ビニルシート 壁/硬質石膏ボード+RC打放し 天井/化粧グラスウール
ラウンジ 床/ビニルシート 壁/硬質石膏ボード+RC打放し 天井/京都産杉材ルーバー
廊下 床/ビニルシート 壁/硬質石膏ボード+RC打放し 天井/RC打放し
撮影/東出清彦写真事務所
*撮影/プライズ 山崎浩治
施工写真提供/フジタ

協力会社

電気設備工事	きん で ん
機械設備工事	不二熱学工業
杭工	ジャパンパイル
ステンレス配管継手納入	オーエヌ工業
屋根材	元旦ビューティ工業
アルミ製建具工事	トラスト
軽鋼製建具工事	小松ウオール工業
シャッター工事	文化シャッター
押出成形セメント板	アイカテック建材
スチンプロクター カラークリアエ	OSHIROX
ウッドデッキ・外部ベンチ工事	昭和洋樽製作所
器具・什器備品	オカムラ



若江 直生……わかえ なおき
2006年京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了、同年日建設計入社。現在、同社アソシエイトアーキテクト



高 婧……こう せい
2012年京都大学大学院工学研究科建築学専攻終了、同年日建設計入社。現在、同社プロジェクトデザイナー

札幌学院大学 新札幌キャンパス 札幌看護医療専門学校

札幌市厚別区

設計 / 大成建設一級建築士事務所
 監理 / 大成建設工事監理一級建築士事務所
 施工 / 大成建設



昼～夜、授業～交流、学生・教員～市民へと賑わいを可視化し、まちに発信される景色(2校でつくるキャンパス)

設計主旨

— 学生によるまちの活性化を目指す

「アカデミック街区」

昭和40年代に開発された新札幌駅周辺では、市営住宅の建替え・集約化による再開発計画が進んでいる。新札幌G街区は約1.6万㎡の敷地に、社会科学・心理学系および看護・医療系の異なる分野の2校の高等教育機関を誘致。住民の高齢化と高校卒業以降の若者人口の減少への打開策として、若者世代によるまちの賑わい・活性化に寄与する

アカデミック街区を形成した。

— まちと連続する「プロムナード・キャンパス」

新札幌駅周辺地区南西エリアには、市科学館や公園・図書館・区役所などの公共施設が集まっている。新たに誘致した2つの学校敷地内では、市民開放する貫通路を活かし2つの施設が共用する屋外プロムナードを、隣接する公園敷地と連続させ、地域と市民につながる、プロムナード・キャンパスを創出した。屋外プロムナードと一体的に設計した2校は、1-2階に屋内プロムナードとし

て「市民開放」できる施設を共通で計画し、外観からも視認性の良い、多目的ホール・カンファレンスシアターで「市民活用」が可能な施設を共通で組み込んだ上で、両校それぞれの個性を表現した外観デザインとした。

— 学生や市民の居場所

「屋内プロムナード(市民開放施設)」

各校舎の1-2階にはそれぞれ屋内外をつなぐホールを配置した。雪国の教育施設では半年間も積極的な屋外活動が望めず、屋内で快適に過ごせる環境を必要としているのに



2校がつながりまちと連続する場(屋内と屋外のプロムナード)



プロムナードでつながる街区



着目し、各校ごとに指向の違う屋内プロムナードとして市民開放にも活用できる施設を計画した。大学では1階に産学連携/コミュニティカレッジ・カフェが連なるコンコース・ホールと2階にブックウォール・コリドーをもつ図書館。専門学校では、1-2階に連続するガーデン・ホールとキャンパス・カフェを計画し生体リズム調光の効果を活かしたウェルネス環境を創出した。これらの空間により、学生が教員や職員の他に市民と、授業以外の時間で積極的な交流が促される場所を目指した。

— 学生や教員が交わる「魅せる教場」

大学では、3-4階の「学び」の講義空間が立体的につながり、5-6階の「研鑽する」研究・ゼミ空間へと「個性の杜」をテーマに連動する。専門学校では、2-5階で学科ごとの「学び」の実習・授業空間へとつながり、5階の「研鑽する」多目的ホール空間へと「共感の大地」をテーマに連動し、それぞれの教育機関に親和性をもった、魅せる教育空間の設えとなっている。

— 学生や市民が集う

「多目的ホール(市民活用施設)」

大学低層部東の2-3階や、専門学校高層部5階には、外部への存在感を強調したデザインの多目的ホール・カンファレンスシアター

が計画されている。平日昼間の学校行事の他に、夜間や休日の市民活用を見込んだ計画としており、「市民に開かれた、まちなかキャンパス」の象徴として、外観のアクセントとなっている。
(興石秀人、鈴木彰信/大成建設)



館内各階の屋内プロムナードに誘う、起点(大学/1階ホール)



《専門学校》左/出会いと居場所が見つかるホール(1階) 右上/「魅せる教場」としてのカンファレンシアター(5階) 右下/生体リズム調光のある学生の憩いの場、キャンパス・カフェ(2階)



専門学校3階平面図



専門学校2階平面図



配置図兼1階平面図 1/1,500



大学5階平面図



大学2階平面図



屋内の賑わいが可視化され、まちに発信される夕景



断面図 縮尺1/800



〔大学〕左上／市民にも開放予定のブックウォール・コリドー（2階） 左下／学生・教員・職員と市民が集う屋内プロムナード（1階） 右／教員研究個室に囲まれた「研鑽する」ゼミ空間ラウンジ吹抜（5・6階）

札幌学院大学 新札幌キャンパス
学校法人 滋慶学園 札幌看護医療専門学校 データ

所在地 札幌市厚別区厚別中央1条5-1

主要用途 大学、専修学校

建築主 大学：学校法人 札幌学院大学
専門学校：学校法人 滋慶学園

設計 大成建設一級建築士事務所

建築：担当／奥石秀人*、鈴木彰信*、高島守央*、小松紗織***、高山 武***、高橋 遼***、山下優美子**
構造：担当／中島 徹*、大石哲哉*、大関亜弥***、角田裕介** 設備：村田義郎*、山本 進*、岡本 隆**、土屋暁子***、藤間一憲*、藤井浩史*、渡邊裕美子*

サイン計画 エモーションナル・スペース・デザイン*

照明デザイン トミタ・ライティングデザイン・オフィス*

インテリア デザインイト***

総合監修 ジケイスペース・DUCE***

担当／浮舟加奈、荒田雪恵、村上孝則、田中進之祐、木村規陽子、堀内雄介



高島 守央……たかしま もりひさ
1999年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修了、2012年大成建設入社。現在、同社設計本部建築設計第五部シニアアーキテクト



高山 武……たかやま たけし
1997年中央工学校建築工学科卒業。設計事務所を経て、2010年大成建設入社。現在、同社設計本部建築設計第五部所属



山下 優美子……やました ゆみこ
1999年早稲田大学第一文学部卒業後、都立品川技術専門学校建築設計科卒業、2000年永松賢一・游建築研究所入社、2020年大成建設入社。現在、同社設計本部建築設計第五部プロジェクトアーキテクト



小松 紗織……こまつ さおり
2008年東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻修了、同年大成建設入社。現在、同社設計本部建築設計第五部プロジェクトアーキテクト

監理 大成建設工事監理一級建築士事務所* 担当／杉岡英幸
施工 大成建設 担当／中西雅裕*、堀 伸介**、下村亮二***、
設備：小林伸弘*（共通*、大学のみ**、専門学校のみ***）

設計期間 大学：2018年6月～2019年9月
専門学校：2018年6月～2019年6月
工事期間 大学：2019年7月～2021年1月
専門学校：2019年7月～2020年10月

〔建築概要〕（札幌学院大学／札幌看護医療専門学校）
敷地面積 11,459.79㎡/4,958.75㎡
建築面積 2,453.99㎡/1,311.38㎡
延床面積 12,346.66㎡/5,984.22㎡
建ぺい率 21.41%/26.45%（許容80%）
容積率 105.57%/119.15%（許容300%）
構造規模 RC造、一部S造/RC造
地上6階、塔屋1階/地上5階、塔屋1階

地域地区 近隣商業地域

〔学校施設（大学）〕

学部構成 経済経営学部、心理学部

学生数 約1,700人

〔学校施設（専門学校）〕

学科構成 看護、視能訓練、歯科衛生、臨床工学

学生数 約600人

〔主な外部仕上げ〕

屋根 アスファルト露出防水

外壁 1～2階：打放コンクリート超耐久性仕上撥水材 3～5/6階：防水型複合塗材 専門一部：化粧型枠の上、木目調塗装

建具 アルミサッシ、アルミカーテンウォール

外構 コンクリート平板、インターロッキング

〔主な内部仕上げ（大学）〕

1階コンコース 床/磁器質タイル 壁/化粧シート 天井/ルーバー天井（木目調クロス）

2階図書館・ホール 床/タイルカーペット・ビニル床タイル 壁/EP・化粧シート 天井/岩綿吸音板

3～4階各種講義・演習室 床/ビニル床タイル 壁/化粧シート 天井/岩綿吸音板

5～6階研究・ゼミ室 床/タイルカーペット 壁/EP 天井/岩綿吸音板

〔主な内部仕上げ（専門学校）〕

1～2階ホール・カフェ 床/磁器質タイル・ビニル床タイル 壁/ビニルクロス 天井/EP・化粧パネル

2～5階実習室・教室 床/ビニル床シート・タイル 壁/ビニルクロス・EP 天井/化粧GB・ビニルクロス

5階カンファレンスシアター 床/ビニル床タイル 壁/ビニルクロス・EP 天井/EP・化粧パネル

撮影／クリエイティブアイズ 川村剛弘



ファサードにもこの建築のテーマを表出させた上／大学「個性の杜」 下／専門学校「共感の大地」

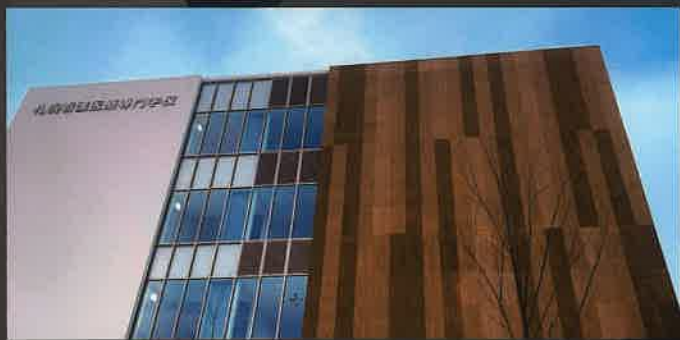
協力会社

電気設備工事	東光電気工事
衛生・空調設備工事	東洋熱工業
衛生・空調設備工事	大成設備
とび・土工・コンクリート工事	小丸建設組
産・土工工事	丸 芳 建 設
鉄骨階段工事	横 森 製 作 所
鉄筋工事	水野鉄筋工業
鉄筋ガス圧接工事	鉄 建 工 圧
ステンレス配管継手納入	オ ー エ 工 業
クレーン据置工事	高 橋 重 機 興 業
コンクリート打放面塗装材	○ S H I R ○ X
金 属 工 事	郷 業
アルミ製建具カーテンウォール工事	北 海 道 不 二 サ ッ シ
鋼製建具パーティション工事/トリアー工事	三 和 シ ャ ッ タ ー 工 業
押出成形セメント板	ノ ー ザ
耐火被覆工事	ナ イ ガ イ
塗膜防水・塗床工事	ケ イ エ ス 建 設
シーリング工事	丸 真 工 業
内装仕上げ工事	ア ラ ゼ ン
スライディングウォール工事	小 松 ウ オ ー ル 工 業
黒板・掲示板工事	青 井 黒 板 製 作 所
木造作・家具工事	マ イ ヤ ー ス
什 器 備 品	内 田 洋 行
外 構 工 事	大 成 ロ テ ッ ク
運 送 業 務	丸 喜 運 輸

OSHIROX では、独自の加工技術の組み合わせで、
これまでにない世界にひとつのコンクリートの壁をつくります。

札幌看護医療専門学校
札幌市厚別区 2021年1月

設計/大成建設株式会社 一級建築士事務所 施工/大成建設株式会社
採用工法:ハイブリッドカラーコーティング工法 化粧化粋 RC面特殊塗装 500㎡



大阪国際中学校高等学校
大阪府守口市 2021年11月

設計/株式会社 安井建築設計事務所 施工/株式会社 竹中工務店
採用工法:ハイブリッドピーリング工法、ウォータージェット複合意匠 100㎡



京都産業大学 天地館
京都市北区 2021年9月

設計/株式会社 日建設計 施工/株式会社 フジタ
採用工法:OSHIROX スティンプロテクター カラークリアー工法 1200㎡

事業内容 ▶ 世界で一つの壁を作ります。:ハイブリッドピーリング工法(ウォータージェット、特殊ビシャン、研ぎ出し) 責任施工
ハイブリッドカラーコーティング工法(特殊塗装) 責任施工 含侵シリカコーティング剤及び、特殊塗料、特殊コーティング剤製造販売

株式会社
OSHIROX

代表取締役 牧野 宰之

<https://oshirox.jp>

【本社・ショールーム】

〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 TEL:06-6690-7372 FAX:06-6690-7373

【工場】

〒653-0032 兵庫県神戸市長田区苅藁通1-3-17 TEL:078-671-1641 FAX:078-671-1643

